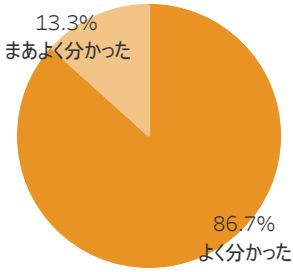


サステナビリティ情報開示研究会 プレセミナーアンケート

01:「サステナビリティ基礎講座」について

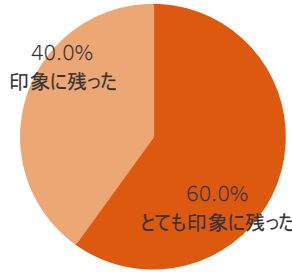
分りやすさ

よく分かった / まあよく分かった / 普通だった
あまり分からなかった / わかり辛かった



印象深さ

とても印象に残った / 印象に残った / 普通だった
あまり印象に残らなかった / 印象に残らなかった

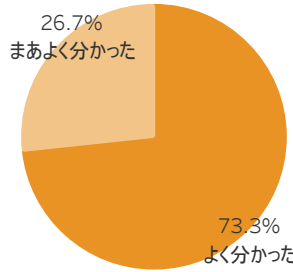


CSR ESG 言葉は知っていましたが、理解が曖昧でした。勉強になりました。
CSR、ESGの位置付けがよくわかりました。例えの大学受験はとてもよく更に理解が深まりました。
CSRの中に占めるESGの割合の大きさを実感しました。
SDGs、CSR、ESGの関係性が理解できた気がします。
受験生の例はわかりやすかった。
図がとてわかりやすかったです。文字だとなかなか頭に入ってこないの...。
図式化していただいたことでより明確に理解することができた。
サステナブルに関して、正直、ニガテ意識を持っていました。しかし、たとえなども交えて、かなりかみかみ説明して頂いたので、スッと理解ができました。
○SDGs、CSR、ESGの関係性が理解出来た。とくに受験生のたとえ話で。
○SDGsの指標についてまったく把握していないことに気づいた。→今後の対応が必要で
SDGsという言葉ばかりが目立って内身や企業としての必要性は知らなかったの参考になりました。
銀行としてSDGs宣言をサポートするだけでなく、取組をサポートする事業をスタートしているため、興味深い内容でした。
達成目標(SDGs)に向けた、正しい努力(CSR)をすることが大切だと感じました。SDGs - CSR (-ESG)の一貫性を心がけると良さそう。
非常に用語などの解説やたとえがわかりやすかったと思います、弊社でもSDGsを達成するという目標になっていたのでも早めに文言を修正しようと思います

02:「なぜ大手企業は、我々に情報開示を求めるのか？」について

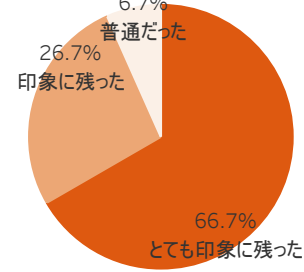
分りやすさ

よく分かった / まあよく分かった / 普通だった
あまり分からなかった / わかり辛かった



印象深さ

とても印象に残った / 印象に残った / 普通だった
あまり印象に残らなかった / 印象に残らなかった

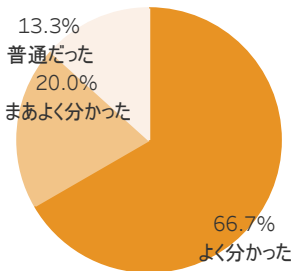


ESGの評価ポイントや機関など、知らない事を学べて参考になりました。
EcoVadisとSedexは初めて聞き勉強になりました。
ローソンの例のような時事的なものは説得力があり、良かったです。
わかりやすかったです
GHGとの兼ね合いもあり、情報開示の大切さが分かりました。新しい、サステナブル目線の考え方を取り入れなければならないと、あせりを感じました。
カーボンプライシングという観点は印象的でした。QCDという直接的な価値ではなく、Sustainabilityに価値を見出す。それに対して対策を練る必要が今後出てきそうです。
当社は、サステナブルな企業であることを求められていると感じる。そのため、外部評価を受け、開示対応の必要性を感じた。
○現状課題以外の取り組みや、評価基準(仕組み)について、知ることが出来た。
○より身近な課題として認識出来ました。→取り組みのモチベーションになりそうです。
まだ先の話ではなく、すでにスタートして取り先にも同じ事が求められていることがわかりました。
ソフトのカーボンプライシングとはなんだろうと思いました。
自社がある企業にとってのScope3に該当するかもしれないという所におどろきました。
大企業にしか関係がないと考えていた情報開示が関係あるかもしれないと思うと、他人事ではないと感じました。
情報開示の重要性がよくわかりました。正直、今までばくぜんと必要だから... というくらいでしたが実際に取り引き先からEcoVadisの評価を求められたことがあり、理由がよくわかりました。
すでに大企業は評価を受けているとの事で 近い将来中小企業も評価をされる時が来るので 今から取り組める所は進めたいと思いました。
大手企業が置かれている立場、責任に対して、情報開示が必要であることを理解しました。これに対応できる企業こそ、新たな取引を獲得できる可能性が高まるということも新たな気づきでした。

03:「サステナビリティ報告の動向」について

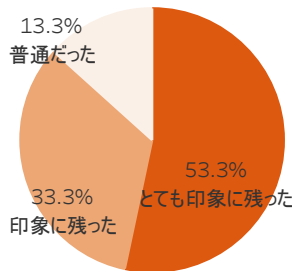
分りやすさ

よく分かった / まあよく分かった / 普通だった
あまり分からなかった / わかり辛かった



印象深さ

とても印象に残った / 印象に残った / 普通だった
あまり印象に残らなかった / 印象に残らなかった

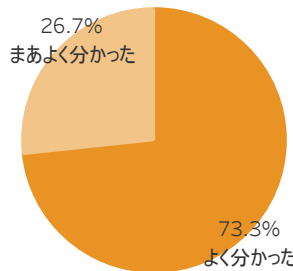


TCFDがここまで賛同されているとは、おどろきでした。
マイナンバー制度も同じですが日本は遅れています。世界の取組みに遅れないよう取り組むべきです。
よく分かりました。義務になる前に、能動的にSDGsへ取り組むべきですね。
動向を知り、スピード感に驚きました。企業対応の柔軟さが必要だと思います。
日本がEU等に比べ大きく遅れていることは感じている。 当社が本件を重要案件として認識できているかと問われると回答に困るのが正直な所である。
日本が他国にくらべて遅れているというおどろきでした。
CO2排出量取引が始まれば、弊社は、排出量が少ないハズなので新たな収益源になるかも?? 売れる??
国の20兆支援のお話は、とても興味を引く内容だったと思います。
自社の修正すべきことや目標の見直しが必要と感じました
日本のサステナビリティ報告の動向は、 世界に押される形でありながらも大企業から義務化が進んでおり、これは情報開示が求められる段..
日本はEUなどから10年もおくれているというのは、おどろきました。

04:「情報開示の準備をしよう」について

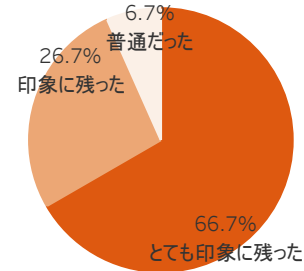
分りやすさ

よく分かった / まあよく分かった / 普通だった
あまり分からなかった / わかり辛かった



印象深さ

とても印象に残った / 印象に残った / 普通だった
あまり印象に残らなかった / 印象に残らなかった



「情報」というのは、資産だと思います。従業員マスタ、つくってみたいですが。
自社がScope3の対象にどういった場合になるのかよく考える良い機会になりました。
従業員マスタの話は弊社で旬な話だったので、聞いてよかったです。
準備はある程度できている気はしますが、活用についてのお話が興味深かったです。
人財について取り組みを進めたいと以前から考えていました。SDGsという観点からも改めて、「人」に引き合い、持続可能な会社/社会を目指していきたいです。
製品を製作するための原料やその輸送に関わるCO2排出量等、 Step2を実践しようと思うと相当な労力がかかると痛感しました。
・CO2排出量の計算(具体例)はよくわかりました。
・開示をすすめることは、自社の統制レベルを上げることに寄与しますね。
「従業員マスタ」というやり方を知ることが出来た。取り組むべき課題が多すぎる... 伴走支援者が必要だと感じた。
仕入先を多数持つ商社でどのようにScope3の情報を集めて、 お客様に開示すればよいか想像できませんでした。
情報開示という動きに向け準備することは、社内の見つけ直しの好機会ともなり得ると感じた。
前述のとおり、自社で再度見直すところをチェックしようと思います
自社にとっては取引先がScope3であって、 他社にとっては自社がScope3であるということが良く分かった。 他人事では済まされない世の中になっていくんだと感じた。